

半導体漫遊記 ②4

湯之上隆

10月24日、韓国を訪う傍ら、長岡技大の客員教授として修士課程の学生を指導している。そんな時、ある商社(S社と呼ぶ)からウエハリサイクルに関する委託研究を受けた。

10月24日、韓国を訪う傍ら、長岡技大の客員教授として修士課程の学生を指導している。そんな時、ある商社(S社と呼ぶ)からウエハリサイクルに関する委託研究を受けた。

その結果、半導体工場では、これまで使い捨てにしていたウエハを、真面目にリサイクルする必要に迫られた。そこに着眼したS社が、リサイクル技術の開発を筆者に委託した。

シリコンウエハをリサイクル

技術開発、韓国会社へ

片を使った学生実験からは、板金設備のソフトウエアを販売していた。F社では、新会社を設立するので、筆者に技術担当役員として来てほしいと言ってきた。そこで、当時所

たりサイクル技術も間たに葬られたかに思われ、韓国で花開く可能性が出てきた。この続き



前列左から、菅子奥野エージェント辛氏、コアクロスのJin-Su Hwang社長、筆者、コアクロスの顧問、後列左から日本のエージェント畠氏および高木氏、コアクロスのマーケティングJunho Chun氏ニソウルの韓国料理のレストランで